

平成18年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		社会福祉法人 武蔵野						
①	指標名	高齢者・身体・知的障害者の施設の定数確保			目標値	95%	実績値	96.7%
	過去の実績	平成15年度	平成16年度	平成17年度	達成率	101.8%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位:)	別紙1の通り	別紙1の通り	別紙1の通り				
	取組内容	※18年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①市のケースワーカー等と連携を強化して、入退所の事務をスムーズに行った。 ②他関係機関と連携して入所対象者を絞り込んだ						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○定員に満たない施設もあるので、定員確保のため引き続き努力していきたい。							
二次評価	●社福武蔵野は高齢者・身体・知的障害者のための様々な施設(身体・知的障害者通所授産施設、知的障害者通所更生施設、身体障害者デイサービス施設、心身障害児通所訓練施設、グループホーム、軽費老人ホーム、特別養護老人ホーム等)を設置・運営している。 ●各施設の利用者を定員の95%以上とする目標を設定しており、18年度は96.7%の利用者を確保できたため、目標を達成している。各施設を効率的に運営していると評価できる。							
②	指標名	介護保険・自立支援費等収入の増加			目標値	520,000千円	実績値	450,263千円
	過去の実績	平成15年度	平成16年度	平成17年度	達成率	86.6%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位: 千円)	541,245	519,562	500,848				
	取組内容	※18年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①各施設の定員確保に努めた(別紙1参照)。 ②ゆとり又は空きベッド解消のため、ショートステイと併用して最大限に活用し利用率を高めた ③ゆとり又はデイは定員超過の判定が月単位となったことで曜日ごとに利用者を増やし前年度1割増を果たすことができた						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○介護保険は単価ダウンにもかかわらず、利用者増を推し進め、減収を最小限に抑えることができた ○地域包括支援センター及び在宅介護支援センターの減収は、法改正及び市の方針の変更によるものである ○自立支援費等収入は予想以上の大幅な単価ダウンにともない、収入が激減し、各自立支援費施設は軒並み赤字施設となった							
二次評価	●介護保険・自立支援費等収入の増加を目標に設定していたが、単価ダウンの影響で前年度の収入を大幅に下回り、当初設定した目標を達成できなかった。 ●地域包括支援センター及び在宅介護支援センターに関しては、法改正があったことに加え、居宅介護支援事業と在宅介護支援センター事業のあり方を整理する必要がある。							
③	指標名	人事考課・給与制度の整備及び正職員削減			目標値	100名	実績値	100名
	過去の実績	平成15年度	平成16年度	平成17年度	達成率	100.0%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位:名) 正規職員数	102	101	102				
	取組内容	※18年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①人事考課制度を導入することができた。それを給与に反映するまでには至っていない ②正規職員の補充を嘱託、臨時職員にしたり(大地、山びこ)、施設長を兼任させることによって、職員数を減らすことができた ③賞与の見直し(夏期2.0月・冬期2.1月・年度末不支給)を行った						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○正職員削減に関し、新規事業のために2人採用したので、目標に対しては実際は98人であり、大幅に削減できた							
二次評価	●人事考課・給与制度の整備及び正職員を削減するという目標を設定し、18年度には、人事考課制度を導入したこと、正職員を2名削減したことにより、当初設定した目標を達成している。 ●障害者就労支援センター「あいる」の立ち上げ及び東京都からの福祉作業所の移管準備などの新規事業があったにもかかわらず、目標どおり正職員の削減を行ったことは評価できる。							